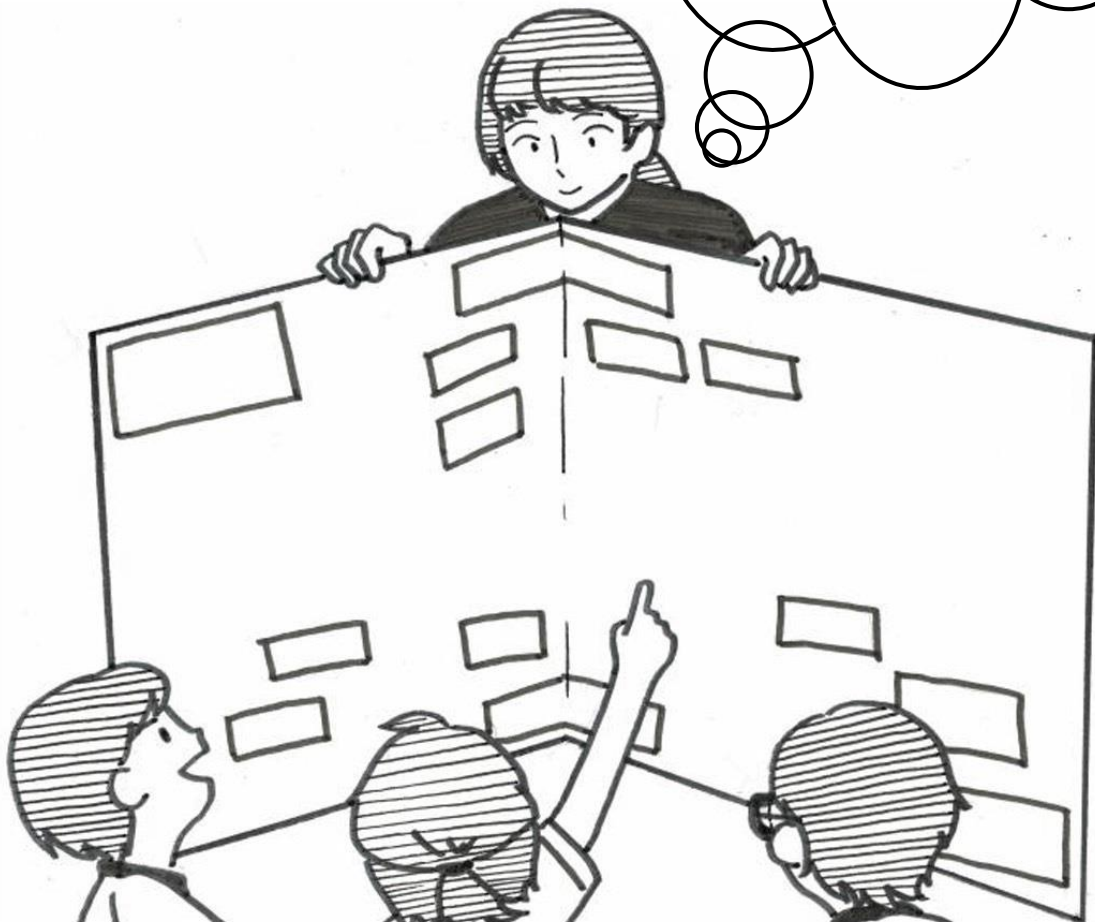


令和4年度 東京都小学校体育研究会  
夏季合同研究会 表現運動系領域部会資料

表現運動系領域部会の  
ホームページはこちら！



令和4年8月17日（水）

# 1 研究の内容

## (1) 研究の視点

### ①表現運動系領域における自己評価の捉え方

子供がひと流れの動きで即興的に踊ったり、ひとまとまりの動きで作品づくりをしたりするときに、自己やグループの踊りについて、表したい感じやイメージが表現できているかを振り返り、踊りや学び方の改善に生かしていく姿を自己評価している姿と捉えた。

自己評価の力は、以下の4つを繰り返すことで育まれると考える。

- ・自分の得意なことや自信がもてることについて自覚すること
- ・自分の学習課題を見いだすこと
- ・自分のよいところを伸ばしたり、学習の不十分な点を改善したりする方法を考えること
- ・他者からの評価、動画を参考にして客観的に振り返りをする

以上の4つの活動に取り組む上で、子供が自己評価する際の根拠として「実感」「掲示物」「友達の言葉」「撮影した動画」を想定した。

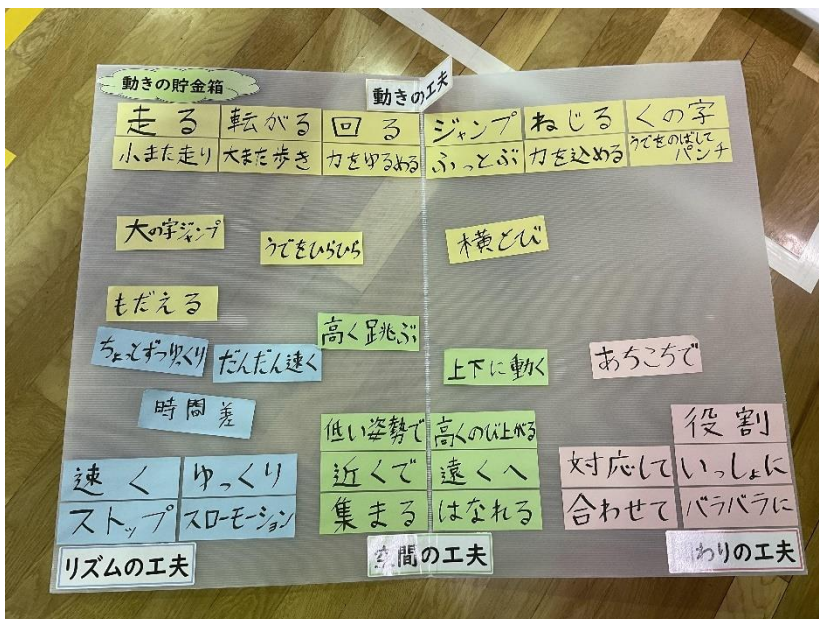
### ②実証授業①（部内授業）で明らかになったこと

単元前半のひと流れの動きで即興的に踊る学習において、「自分の得意なことや自信がもてることについて自覚すること」「自分の学習課題を見いだすこと」などの自己評価の力を育むことにつながる手立てを講じた。実証授業①を通して、よい動きを書きためた掲示物やデジタル振り返りシートを活用することが有効であることが分かった。

### ③子供自身が自己評価の力を高めていくための手立ての工夫

#### ○よい動きを書きためた掲示物の活用

子供たちが見つけたよい動きを動きのポイントとして毎時間書きためていく「動きの貯金箱」を作成する。



実証授業①で子供と一緒に作成した「動きの貯金箱」

### 〈活用による効果〉

- ・子供たちが課題解決した成果をためていくことで、次の課題設定の手助けになる。
- ・見合いや振り返りなどでは「今日は〇〇だったので、次はもっと～したい。」と自己の学習状況を把握したり、学習課題を見いだしたりすることができる。
- ・子供が自分たちで課題解決に取り組む際に、解決の糸口にしたり、よい動きが意識できているか確かめたりすることができる。

### 〈1時間の流れの中での活用〉

#### みんなでやってみる

教師のリードで踊って、よい動きを紹介する時に、意識できているポイントを全体に提示して確認する。

#### ひと流れの動きにして踊る

教師が各グループに掲示物を持って回り、イメージを表す動きや工夫の仕方のヒントになるようにする。

#### 学習の振り返り

今日見付けたよい動きを確認し、新しく見付かったよい動きを掲示物に書き加える。



※子供から各グループにも掲示物が欲しいなどの声があった場合は、グループごとに掲示物を貼っておくことで自分たちで活用することができる。



### ○デジタル振り返りシートの活用

- ・選択肢から自分に合った学習課題を選ぶことができる。
- ・学習の履歴が一目で分かるようにすることで、自身の学びの変容を実感することができる。
- ・自己評価の根拠として「実感」「掲示物」「友達の言葉」「撮影した動画」から選ぶことができる。
- ・端末上で一人一人の自己評価したものを共有することができ、自らの学びに生かすことができる。

## ④実証授業②で明らかにしたいこと

実証授業②は、単元後半の簡単なひとまとまりの動きにして踊る探究的な学習で行う。ひとまとまりの動きで作品づくりをする中で、実証授業①で行った手立てに加え、動画撮影と相互の見合いの行い方を指導する。ICT 機器による動画撮影をすることで、自己やグループの動きを確認し、表したい感じやイメージにふさわしい動きかどうかを客観的に見られるようにする。また他のグループと相互の見合いをすることで、表したい感じやイメージが他者に伝わっているか確認したり、他グループの気に入った動きを取り入れたりできるようにする。「実感」「掲示物」「友達の言葉」「撮影した動画」から選んだことを根拠として、「自分の得意なことや自信がもてることについて自覚すること」「自分の学習課題を見いだすこと」「自分のよいところを伸ばしたり、学習の不十分な点を改善したりする方法を考えること」「他者からの評価、動画を参考にして客観的に振り返りをする」を繰り返し、自己評価する力が高まる様子が見られるかどうかを検証する。授業内の子供の姿やデジタル振り返りシートの記述からそれらを明らかにしていきたい。

## 2 学習指導案

### (1) 単元の目標

知識及び技能	表現の行い方を理解するとともに、表したい感じを表現することができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や発表の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	表現に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。

### (2) 単元の評価規準

観点	単元の評価規準	学習活動に即した評価規準
知識・技能	運動の行い方を理解するとともに、表したい感じを表現したり踊りで交流したりしている。	①表現運動の行い方について、言ったり書いたりしている。 ②対立・対応した動きに変化を付けたり繰り返したりして、メリハリ（緩急・強弱）のあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。 ③表したい感じやイメージを強調するように、「はじめ-なか-おわり」を付けた簡単な構成を工夫して、仲間と感じを込めて踊ることができる。
思考・判断・表現	自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	①表したい感じやイメージが表れているか、踊りの特徴を捉えて踊れているかなど、グループの仲間や他のグループの踊りを見て、自己やグループの課題を見付けている。 ②「表したい感じやイメージを強調する」という課題に応じて、差のある動きや群の動きなどで変化を付ける方法を選んでいる。 ③表したい感じやイメージにふさわしい動きになっているかをペアやグループ、クラス全体で見合い、よくなったところを伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組もうとし、互いのよさを認め合い助け合って踊ろうとしていたり、場の安全に気を配ったりしている。	①表したい感じやイメージを表現したりする運動に積極的に取り組もうとしている。 ②互いの動きや考えのよさを認め合おうとしている。 ③グループで取り組む際に、仲間と助け合おうとしている。

### (3) 指導と評価の計画

	1	2	3 (本時)	4	5	6	7	
学習の流れ	<b>心と体をほぐす</b>							
	○友達と関わりながら心と体をほぐす運動に取り組む。○一人で動けるものから始め、二人、四人と関わる人数を増やしていく。							
学習の流れ	<b>みんなでやってみる</b> <b>運動との出会い</b> イメージカルタ テーマ「大変だ!」 <b>教師のリードに</b> <b>合わせて踊る</b> イメージカルタを引き、教師のリードに合わせて踊った後、イメージカルタをグループで引き、いろいろなイメージで踊ってみる。 <b>学習の見通しをもつ</b> 「みんなでやってみる」で取り組んだイメージカルタからおもしろかった「大変だ!」を出し合う。第2時~第4時でどのように取り組んでいくかをみんなで考え、学習の見通しをもつ。	<b>イメージをふくらませる</b> <b>イメージバスケット</b> 第1時で出し合った「大変だ!」から、どのようなイメージが浮かぶかを自由に考え、オノマトペなどで出し合う。 <b>みんなでやってみる【習得】</b> 出てきたイメージを基に、教師のリードに合わせて踊ってみる。いろいろなイメージで踊ってみる。教師が価値付けたことを自分もやってみる。	小テーマ (例) 「身近な生活」 激しく洗われる洗濯物 飛び出すナイダー	小テーマ (例) 「自然」 大型台風発生! 火山が大噴火	小テーマ (例) 「生活・自然」 次々と打ち上がる花火 隕石落下	<b>ひとまとまりの動きにして踊る【探究】</b> 「はじめ-なか-おわり」の三つの場面でひとまとまりの動きを考える。一番表したい場面（なか）を強調する。	友達を選んだ動きを自分も真似して踊ってみる。	4時間目までに習得したことを生かして、よりイメージに合った工夫をして踊る。
	<b>ひと流れの動きにして踊る【活用】</b> 「みんなでやってみる」で取り組んだイメージから選んで踊る。教師や友達の真似をして踊ってみる。教師が価値付けたことを意識する。	グループで選んだイメージを動きにして踊る。いろいろなイメージで踊る。みんなで確認したよい動きや工夫を取り入れて踊る。	○好きな題材とイメージを選び、「はじめ-なか-おわり」をつけて踊る。 ○4時間目までに見付けたよい動きや習得した動きを生かし、自分たちだけの表現を創造する。	○自分たちの表現をよりよくする。 ○掲示物を活用する。 ○ICTを活用する。 ○他のグループの友達に見てもらって、アドバイスをもらう。	<b>交流会をする</b> 子供たちから願いが出たら行う。			
	<b>振り返り・学習課題の選択</b>						<b>振り返り</b>	
	本時の学習を振り返り、次の時間に解決したい学習課題を選択する。						単元を通した振り返りをする。	
評価の重点	知		② (観察・カード)		① (観察・カード)	③ (観察・カード)		
	思		① (観察・カード)	③ (観察・カード)	② (観察・カード)		③ (観察・カード)	
	態	① (観察・カード)		② (観察・カード)			③ (観察・カード)	② (観察・カード)



早く6年生の表現運動をやりたいな。どんなことをするのを楽しみたいかな。踊るのが苦手だから不安だな。

心と体をほぐす

友達と関わったり心と体をほぐす運動に取り組む。

- ・スキップ&ストップ
- ・体じやんけん
- ・足踏み
- ・窓拭き
- ・リズムダンス
- ・子取り鬼

表現運動はやっぱり楽しいな。次は何をするのかな。

みんなをやってみる

運動との出会い

イメージカルタ  
テーマ「大変だ！」



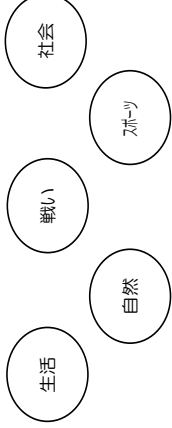
教師のリードに合わせて踊る

【学習経験のない学級】  
イメージカルタを1枚引き、教師のリードに合わせて踊ってみる。教師が価値付けしたことを自分もやってみる。

【学習経験のある学級】  
イメージカルタを1枚引き、教師のリードに合わせて踊った後、イメージカルタをグループで引き、いろいろなイメージで踊ってみる。

学習の見直しをもつ

「みんなをやってみる」で取り組んだイメージカルタからおもしろかった「大変だ！」や、その他にも「大変だ！」でイメージするものがあれば出し合う。出したものを第2時～第4時までのように取り組んでいくかをみんなで作って考え、学習の見直しをもつ。



友達と一緒に協力して表現運動に取り組みたい。楽しく踊れるようにしたい。動きを工夫して踊れるようにしたい。

前回よりも表現を楽しみたい。イメージに合わせて動きを工夫して踊りたい。どうしたらよりよくできるか考えて踊りたい。

イメージバスケット

第1時で出し合った「大変だ！」から、どのようなイメージが浮かぶかを自由に考え、オノマトペなどで出し合う。

みんなをやってみる【習得】

出てきたイメージを基に、教師のリードに合わせて踊ってみる。いろいろなイメージで踊ってみる。教師が価値付けしたことを自分もやってみる。

小テマ 「身近な生活」

- (例1) 激しく洗われる洗濯物
- (例2) 飛び出すサイダー

身に付けた動き

- 誇張と変化のある動き

小テマ 「自然」

- (例1) 大型台風発生！
- (例2) 火山が大噴火

身に付けた動き

- 不安定で不規則な動き
- 変化と起伏のある動き

小テマ 「生活・自然」

- (例1) 水々ど打ちあがる火花
- (例2) 隕石落下
- (例3) 天井がおりてきた

身に付けた動き

- 群を生かした動き (くっつきたり、離れたり)
- (含ませたり、自由に動いたり)

ひと流れの動きにして踊る【活用】

まだはずかしい。動きが分らなくて、自信がもてない。みんなのまねをして踊りたい。

もどオーバーに踊ったり、動きを工夫して踊ったりしたい。他にもどんな動きがあるか知りたいから～しよう。

「みんなをやってみる」で取り組んだイメージから友達と似たようなイメージを出し合う。友達と似たようなイメージを出し合った後、イメージカルタをグループで引き、いろいろなイメージで踊ってみる。

グループで選んだイメージを動きにして踊る。いろいろなイメージで踊る。みんなを確認したよい動きや工夫を取り入れて踊る。



振り返り

本時の学習の振り返りをする。

友達と協力して表現運動に取り組みたい。楽しく踊れるようにしたい。動きを工夫して踊れるようにしたい。

学習課題の選択

次の時間に解決したい学習課題を選択する。

前回よりも自信をもって踊りたい。強調するところに入れて踊りたい。もっとよりよくできることを考えて踊りたい。

ひとまとまりの動きにして踊る【探究】

「はじめ～な～おわり」の三つの場面ですとまとまりの動きを考える。一番表したい場面(なか)を強調する。

グループで考えた動きをできるようにしたい。

グループで考えた動きを自分も真似して踊ってみる。

グループで考えたイメージを入れてほしい。

4時間目までに習得したことを生かして、よりイメージに合った工夫をして踊る。

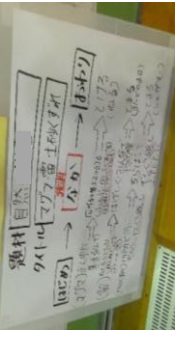


自分たちが考えた「なか」をより強調するためには、どんなイメージで踊るのがよいか。

イメージに合った動きができているか確かめるには、どの方法が最適か。

- 好きな題材とイメージを選び、「はじめ～な～おわり」をつけて踊る。
- 4時間目までに見付けたよい動きや習得した動きを生かし、自分たちの表現を創造する。

- 自分たちの表現をよりよくする。
- 提示物を活用する。
- 他のグループの友達に見てもらって、アドバースをもらう。



区選会をする  
※子供たちがから願いが出たら行い、交流の仕方を工夫する。



振り返り

こういうふうに学習したら、よりよくできることが分かった。他の学習にも生かしたい。

(5) 本時の学習

① 本時のねらい


表したい感じやイメージが表れているか、踊りの特徴を捉えて踊れているかなど、グループや他のグループの踊りを見て、自己やグループの課題を見付けることができるようにする。

【思考力・判断力・表現力等】

② 本時の展開

学習内容・活動	○教師のかかわり ◎配慮児童への支援	□評価（方法）
<p>1 学習活動の確認をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今日の学習活動を全体で確認する。</li> <li>グループでお互いの学習課題を共有する。</li> </ul> <p>2 心と体をほぐす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現遊びをする。</li> <li>リズムに合わせて踊る。</li> </ul> <p>3 イメージバスケット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「大型台風が発生」「火山が大噴火」からイメージしたことを出し合う。</li> </ul> <p>4 小テーマ「自然」を、みんなでやってみる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イメージバスケットで出てきたイメージを基に、教師のリードで踊る。 (例1)「大型台風が発生」 (例2)「火山が大噴火」</li> </ul> <p>5 グループで、いろいろな「自然」を変化のあるひと流れの動きで踊る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで確認したよい動きや工夫を取り入れて踊る。</li> </ul> <p>6 クーリングダウンをする</p> <p>7 学習の振り返りをする</p> <p>8 学習課題を選択する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の学習課題に合った次時の学習カードの項目を選ぶ。</li> </ul>	<p>◎恥ずかしさや苦手意識をもっている児童には、「先生の真似をしてみてね」と言って一緒に踊ることで、表現運動の楽しさを味わうことができるようにする。</p> <p>○「すばやく、スローモーション、ストップ」や「友達と合わせる」など、変化や起伏のある動きを意図的に経験できるようにリードする。</p> <p>○子供のイメージを肯定的に受け止め、どんなイメージでも出してよいという雰囲気をつくる。</p> <p>○教師の動きを真似したり、教師が言ったことを動きにしてみたりするように伝える。</p> <p>○リードしながら、空間の工夫や関わりの工夫を取り入れて踊るようにする。子供が真似して工夫を取り入れたら、全体の場で称賛し、価値付ける。</p> <p>◎恥ずかしさや苦手意識をもっている児童には、近くに行き、教師の動きを真似するよう伝えて支援する。動きに少しでも変容が見られたら称賛する。</p> <p>○最初と最後はポーズで決めることを意識させる。</p> <p>○各グループを回り、掲示物を見せることでどんな動きで自分たちの表現ができたか実感させる。また、自分たちの踊りをよりよくするために、どの工夫を取り入れたいか意識できるように促す。</p> <p>◎支援を要するグループや児童には、教師リードと一緒に踊ったり、具体的な動きを言葉掛けしたりする。動きに少しでも変容が見られたら称賛する。</p> <p>○本時の学習を振り返りながら、心と体を落ち着かせられるようにする。</p> <p>○意識したことやできるようになったこと、次の時間にできるようになりたいことやよりよくしたいことについて振り返るよう伝え、本時の学習の成果や課題に気付けるようにする。</p> <p>○次の時間にできるようになりたいこと やよりよくしたいことから、学習カードの項目を選ぶことを伝える。</p>	<p>□表したい感じやイメージが表れているか、踊りの特徴を捉えて踊れているかなど、グループの仲間や他のグループの踊りを見て、自己やグループの課題を見付けている。(観察)(学習カード)</p>

(6) デジタル振り返りシートについて

デジタル振り返りシート										6年 組 名前			
授業の前 表現の学習にどのように取り組んでいきたいですか。	時間	1 大変だ！			2 身近な生活			3 自然			4 生活・自然		
	テーマ				動きをよりよくしたい			動きをよりよくしたい			その他		
	学習課題	リズムを変えて踊る			イメージしたことを動きにしたい			イメージしたことを動きにしたい			自分で入力		
	感想	振り返りの基にしたこと			振り返りの基にしたこと			振り返りの基にしたこと			振り返りの基にしたこと		
振り返り		<input type="radio"/>	実感	<input type="radio"/>	友達からの言葉	<input type="radio"/>	実感	<input type="radio"/>	友達からの言葉	<input type="radio"/>	実感	<input type="radio"/>	友達からの言葉
			掲示物		自分で撮影		掲示物		自分で撮影		掲示物		自分で撮影
	先生より												
	単元終了後	時間	7 (例) 火山の噴火			8 (例) 火山の噴火			9 (例) 火山の噴火				
表現の学習にどのように取り組みましたか。	テーマ	動きをよりよくしたい			その他			表現を楽しみたい					
	学習課題	役割を果たしたい			おどりを完成させたい！			グループで助け合いたい					
	振り返りの基にしたこと	振り返りの基にしたこと			振り返りの基にしたこと			振り返りの基にしたこと					
		<input type="radio"/>	実感	<input type="radio"/>	友達からの言葉	<input type="radio"/>	実感	<input type="radio"/>	友達からの言葉	<input type="radio"/>	実感	<input type="radio"/>	友達からの言葉
振り返り			掲示物		自分で撮影		掲示物		自分で撮影		掲示物		自分で撮影
	先生より												

① デジタル振り返りシートの有効性について

- 1 ページにまとまっていることで学びの履歴を振り返りやすく、単元を通して自己の変容に気づきやすい。
- 学習課題の設定は、セルをクリックすることで選択肢から自分に合った学習課題を選ぶことができ、短時間での入力が可能である。(当てはまるものがない場合は、自由記述可)
- 振り返りの基にしたことを「実感」「掲示物」「友達からの言葉」「自分で撮影」から選んで○を入力することができ、自己評価する際の根拠を明確にすることができる。(複数選択可)
- Teams 等、クラスで利用している投稿機能を使って、自分の振り返りを全体で共有することができる。
- 教師も直接コメントを入力することができる。

※配慮すべきこと

- タイピングに慣れていない児童には時間がかかるため、日々の積み上げが必要である。
- 子供が操作を誤って、削除してしまうことがあるので、バックアップを取っておく必要がある。
- インターネットの通信環境による不具合を考慮する必要がある。

② 学習課題の選択肢について

学習指導要領解説をもとに、子供が見いだす学習課題を想定し、選択肢を以下のように作成した。設定したい学習課題が下記の選択肢にない場合は、「その他」を選択し自由に記述することが可能である。選択肢を複数選択することができないため、「その他」を選択して入力することも想定される。

表現を楽しみたい	動きをよりよくしたい	その他
積極的に踊りたい。 友達のよさを認めたい。 グループで助け合いたい。 役割を果たしたい。 場の安全に気を付けて踊る。	激しくオーバーに踊りたい。 イメージしたことを動きにした い。 リズムを変えて踊りたい。 場を広くつかって踊りたい。 人数の多さをいかして踊りたい。 目線や表情を工夫して踊りたい。 表したい感じやイメージを強調 して踊りたい。	(自由記述)

③ 汎用性について

デジタル振り返りシートは、表計算ソフトで作成している。Microsoft であれば「Excel」、Google であれば「Google スプレッド・シート」、Apple であれば「Numbers」等、それぞれに互換性があるため、勤務校の端末がどのソフトを使っているのかを確かめたいうで活用できるとよいと考える。

デジタル振り返りシートを児童の端末に振り分ける場合には、Microsoft teams のようなプラットフォームを活用したい。

## 表現運動系領域部会で一緒に研究しませんか？

表現運動系領域部会では、「運動が大好き！」「表現運動が楽しい！」という子供たちを増やすために研究を進めています。

コロナ禍では、ZOOMも活用しながらハイブリッド形式で部会を進めてきました。研究内容によってグループを作って話し合ったり、実技研修を行ったりと、とてもアットホームな雰囲気です。興味のある方は、部長・副部長へお問い合わせください。部員一同、心よりお待ちしております。

これまでの研究資料は、小体研ホームページにある表現運動系領域部会のページに掲載しています。

ぜひご覧ください！



### 【実証授業②のお知らせ】

日 程 令和4年12月14日（水）  
単 元 第6学年表現「大変だ！」  
会 場 江戸川区立下小岩第二小学校  
授業者 阿部 千春 主任教諭

